

平成 29 年 10 月 2 日（月）

報道関係各位

平成 29 年度 第 17 回 山崎貞一賞 2 分野 3 名の受賞者を決定

一般財団法人材料科学技術振興財団（所在：東京都世田谷区、理事長：山本 幸助）では、山崎貞一賞 選考委員会（委員長：増本 健）を経て 9 月 12 日（火）に実施された理事会にて、今年度の受賞者を下記 2 分野 3 名に決定いたしました。11 月 22 日（水）に東京・上野の日本学士院にて贈呈式を開催し、贈呈および受賞者講演を行います。

今年度は、計測評価分野に「味覚センサの研究開発」、バイオサイエンス・バイオテクノロジー分野に「蛍光プローブの論理的精密開発と生物・医学領域での実用化」の業績を選出いたしました。

記

第 17 回 山崎貞一賞 受賞者（敬称略）

◆ 【計測評価分野】

受賞題目「味覚センサの研究開発」

九州大学 味覚・嗅覚センサ研究開発センター センター長
株式会社インテリジェントセンサーテクノロジー 代表取締役社長

都甲 潔
池崎 秀和

◆ 【バイオサイエンス・バイオテクノロジー分野】

受賞題目「蛍光プローブの論理的精密開発と生物・医学領域での実用化」

東京大学 大学院薬学系研究科・医学系研究科 教授

浦野 泰照

以上

※受賞者へのインタビューや写真撮影をご希望の場合は下記までお問い合わせをお願い申し上げます。

【報道関係者からのお問い合わせ先】

山崎貞一賞 広報事務局（株式会社プラップジャパン内） 担当：柴田、檜垣

TEL：03-4580-9107 FAX：03-4580-9133

Email：ka-shibata@prap.co.jp / k-higaki@prap.co.jp

第17回 山崎貞一賞 受賞者概要

計測評価分野

※敬称略

受 所 生 出	賞 年 月 身	者 属 日 地	都甲 潔 (とこうきよし) 九州大学 味覚・嗅覚センサ研究開発センター センター長 1953年2月23日生 (64歳) 福岡市東区
受 所 生 出	賞 年 月 身	者 属 日 地	池崎 秀和 (いけざき ひでかず) 株式会社インテリジェントセンサーテクノロジー 代表取締役社長 1958年6月17日生 (59歳) 香川県高松市国分寺町
題目：「味覚センサの研究開発」			
受賞研究の概要・受賞理由 都甲潔氏は人工の脂質/高分子膜の膜電位差を甘味、塩味、酸味、苦味、うま味など、ヒトの味覚の基軸に対応する味質に選択的に応答するセンサ群を構築し、膜の電位差として味を数値化するセンシング手法を世界最初に実現した。池崎氏と協力して基軸センサと信号処理を実行する味認識システムを実用化し、味を認識し、表示する装置を、国の内外に約400台を販売した。実際にヒトが感じる味は基軸となる味の複合である。複合の味を数値でなく、直観的にわかるように伝達するために基軸にかかわるレーダチャート、あるいは特徴を表す2本の基軸を選び、それが作る平面上の点の位置として表示する。従来、食品産業では、ヒトの感覚に依存したため、製造工程や品質の管理上不安定な要素が残ったが、味認識システムを導入することで、品質の変動を除去することができた。また、消費者の嗜好の時代や世代による変化、地域による変化に合わせて新しい味を設計し、嗜好に合った商品を開発することも可能になった。候補者は世界最初に計測手法を確立した上に、装置として社会に広め、食品関係の品質管理や製品特性の客観化に大きく貢献した。			

バイオサイエンス・バイオテクノロジー分野

※敬称略

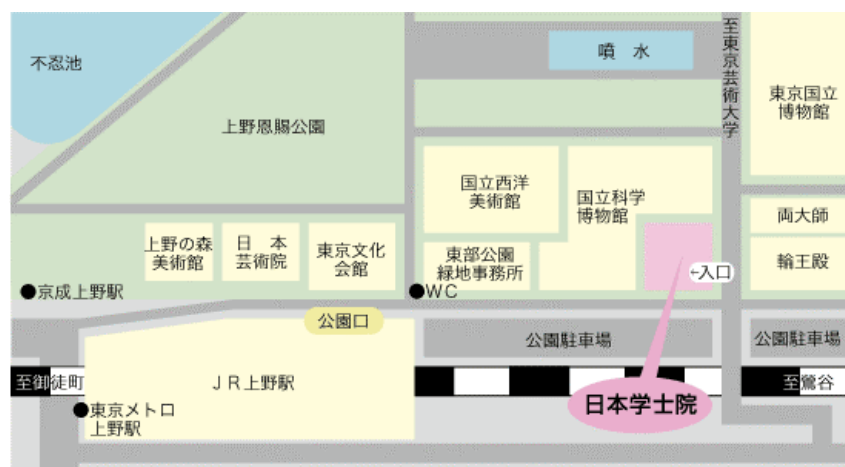
受 所 生 出	賞 年 月 身	者 属 日 地	浦野 泰照 (うらのやすてる) 東京大学 大学院薬学系研究科・医学系研究科 教授 1967年6月4日生 (50歳) 東京都目黒区
題目：「蛍光プローブの論理的精密開発と生物・医学領域での実用化」			
受賞研究の概要・受賞理由 浦野博士は、現在の生物・医学領域における最重要技術の一つであるライブイメージングにおいて、分子内スピロ環化という独創的着想と精密な分子設計原理に基づく新たな蛍光プローブ分子を開発してきた。これを用い、世界に先駆けて生細胞内骨格構造形成のダイナミクスを超解像イメージングで実証するなど他の追従を許さない革新的な成果を挙げている。既に、博士が開発した数十種類の蛍光プローブが国内外で市販され、世界の生物・医学研究に大きく貢献している事も特筆すべき成果である。さらに博士は、化学は実学であるという信念の元に、臨床の現場で使える蛍光プローブの開発をも手がけ、最近、微小がん部位を術中可視化出来る画期的なスプレープローブ技術の開発に成功し、実用化への道筋をつけている。以上のように、浦野博士は基礎から応用に至るまで独創的な視点から数多くの蛍光プローブを開発し、かつその実用化までも先導していると言う点で山崎貞一賞受賞者にふさわしいとの結論に至った。			

【第17回 山崎貞一賞 贈呈式の開催】 (ご案内)

受賞者には、11月22日(水)に日本学士院で行われる第17回 山崎貞一賞 贈呈式にて、賞状と副賞として各分野に対し300万円が贈呈されます。

当日は、今回、受賞対象となった業績について、受賞者より講演を行います。また、受賞業績内容の展示も実施いたします。

日 時	: 2017年11月22日(水) 14時開始
会 場	: 日本学士院
住 所	: 東京都台東区上野公園 7-32
電 話	: 03-3822-2101 (代表)
プログラム	: 審査報告・贈呈・各分野の受賞者による講演など



<JR 上野駅公園口から徒歩4分／京成上野駅から徒歩8分／東京メトロ上野駅から徒歩8分>

山崎貞一賞について

山崎貞一賞は、財団法人材料科学技術振興財団の初代理事長を務めた故山崎貞一氏の人材育成の功績を称えとともに、わが国の科学技術の普及啓発と科学技術水準の向上に寄与することを目的として平成13年に創設されました。本賞の対象は、当財団の寄付行為第4条の事業内容に対応した「材料」「半導体及び半導体装置」「計測評価」「バイオサイエンス・バイオテクノロジー」の4分野からなり、論文の発表、特許の取得、方法・技術の開発等を通じて、実用化につながる優れた創造的業績をあげている人について表彰するものです。第17回山崎貞一賞では「計測評価」、「バイオサイエンス・バイオテクノロジー」の2分野に対し贈呈いたします。

一般財団法人材料科学技術振興財団 (MST) について

当財団は、昭和59年8月の設立以来、「先端的な科学技術分野における新材料に関する基礎的研究を行うとともに、新材料の解析・評価を実施すること等により材料科学技術の振興を図り、もって我が国の経済社会の発展と国民生活の向上に寄与すること」を目的として幅広い活動を展開しています。

- ・一般財団法人材料科学技術振興財団 山崎貞一賞事務局 TEL : 03-3415-2200
- ・一般財団法人材料科学技術振興財団について <http://www.mst.or.jp/>
- ・山崎貞一賞について <http://www.mst.or.jp/Portals/0/prize/index.html>